

心はいつも住民の皆さまと共にあり、歩んでいく――。

チーム三芳で 危機を乗り越える。

三芳町長
林 伊佐雄



新

新型コロナウイルスが世界各国に感染が拡大しています。町では、対策本部会議を立ち上げ、町主催のイベントの中止や延期、小中学校の臨時休業などを行ってきました。今、大事なことは、住民の皆さまの生命と生活を守ることです。未来へのチャレンジを忘れることなく、町全体が一丸となって、「チーム三芳」でこの危機を乗り越えていく時だと考えます。

今後も、国や県など関係機関と情報共有を図り、新型コロナウイルスの蔓延防止に万全を期してまいります。

施政方針※3月1日表明

三芳町は、今年、節目の年を迎えます。昭和45（1970）年、三芳村から三芳町に町制が施行されて50年。日本も56年ぶり2度目の東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。

人生や歴史の中で「節」というのは重要な意味をもっています。節は中が空洞であっても空高く伸び、風に負けないのは節があるからです。草木はこの節から新しい芽を出し、花を咲かせます。私達一人ひとりが未来に向けてどのような芽を出し、花を咲かせること



▲7月7日、「みらい通り」をオリンピック聖火リレーが駆け抜けます。

ができるのか。大切な年です。稽古照今（いにしえをかむがえいまをてらす）。「昔のことを学んで、今を照らして、現在の指針とする」という意味の『古事記』の

序文です。節目の年を迎え、三芳町の現在と未来の指針を明らかにする時だと考えます。

三芳町はオリンピックでオランダ、パラリンピックでマレーシアのホストタウンとなりました。私は住民の皆さまに、選手の応援や交流、聖火リレーの声援、テレビ観戦であっても、「私のオリンピック」「私のパラリンピック」また「私の50周年」というレガシーを残して欲しいと思います。

一人ひとりの感動が、新たな人生の創造につながり、町民全体の感動が一つになった時、新たな三芳町の創造につながります。「私

町政運営の基本方針

「稽古照今」は先人達に感謝し、未来の三芳に思いを馳せ、住民の皆さま一人ひとりの心に寄り添い、右手に「住民福祉の増進」、左手に「オリパラ、50周年」を掲げる進歩を基本方針として町政を運営していきます。

今年度は第5次総合計画後期基本計画、20年間の都市計画マスタープランがスタートします。第5次総合計画で柱となるのが、3つのまちづくりの基本理念です。



▲節目となる町制施行50周年を町全体で盛り上げていきます。

「協働のまちづくり」では、今年度から第3次協働推進計画がスタート。今後さらに協働の概念も含めて受け皿を広げ、住民参加の促進と多様な主体との連携を進めていきます。

また、「SDGs（持続可能な開発目標）」の観点から、昨年度に総合計画を見直しました。可能な施策や事業をすべてSDGsに位置づけ、さらに「持続可能なまちづくり」を推進していきます。

「特性・資源を活かすまちづくり」には、三芳PAのスマートI

Cのフル化と武蔵野の落ち葉堆肥農法の世界農業遺産認定の2つの大きなテーマがあります。関係者の協力と努力によって、確実にゴールが見えるところまでできました。さらに一歩を進めていきます。

新たな都市計画マスタープランでは、20年間のスパンの中で将来目標とする都市の実現に向け、住民の皆さまからいただいた声を反映していきます。中でも、令和の森公園、藤久保地域拠点整備基本計画、都市計画道路整備などは、重要施策として推進していきます。

POINT

3つの町政運営の基本方針

生き方の創造、それは夢への挑戦 ～金メダリストの言葉から

「夢を持つこと、夢を持ち続けること、実現に向けて願い続けることが重要」。JOC 山下会長という言葉です。生き方の創造には、夢を持ち続け、トレーニングに励み、艱難辛苦に打ち克ち、スポーツで学んだことを日常生活に活かすことが大切です。2020年、新たな夢への挑

戦、生き方を創造して、人格を高め、人生の勝利者になる、私達のストーリーが始まります。



共生社会の実現に向けて ～すべての人の幸せを願って

マレーシアとのホストタウン締結に向けて調整してきた三芳町。共生社会ホストタウンの目的は、パラリピアンへの受け入れを契機に、共生社会の実現に向けた取組を加速し、2020年以降につなげていくことです。マレーシアパラリピアンへの支援と交流を通じて、誰しもが命と個

性、その実存を尊重し合い、互いに信頼し、支え合える共生社会の実現をめざしていきます。



オリパラ5つのレガシー ～未来への懸け橋

スポーツの世界的祭典を通じて、三芳町が未来へ遺す5つのレガシーを挙げます。

①「私の2020」～感動から夢への挑戦②スポーツの力で青少年健全育成～スポーツは人づくり③Sports For All～デポルターレの心で④「ピープルインサイド オナジ」～共生社

会の実現へスタートライン⑤ホストタウンを通じた国際交流～世界の平和に向けて

